

市民記者が行く！ 広報サポーターレポート

八十八夜の別れ霜

稲荷山周辺の茶畑



広報サポーター
三浦允之さん(細池町)

稲荷山は、西尾市の北西部に位置し、矢作川に近い丘陵地にあります。その中央部にある稲荷山茶園公園からは、辺り一面に広がる茶畑を見渡すことができ、お茶所・西尾を象徴する景観といえます。

今年も八十八夜を迎えた5月2日に、稲荷山茶園公園近くの



①



②

茶畑では、かすり姿の摘み子さんたちによる茶摘みが行われました【①】。昔から「八十八夜の別れ霜」ともいわれ、八十八夜は春から夏へ移る季節の境目の日とされています。4月上旬頃から一定期間、茶畑には黒い覆い・寒冷紗が掛けられます【②】。寒冷紗を掛けて日光を遮断することにより、薄くて柔らかい茶葉になり、渋み成分のタンニンが抑えられ、うまみ成分のテアニンが増すそうです。

ところで、西尾と茶の関わりは古く、1271(文永8)年に建てられた実相寺【③】の開祖



③



④



⑥

⑤

・聖一国師が、寺の境内に茶の種をまいたのが西尾茶の起源とされています。1872(明治5)年には、紅樹院【④】の住職・足立順道が宇治から茶の種を持ち帰り、境内に茶園を造りました。今も西尾茶の原樹が残っています。その後、稲荷山一帯が広く開墾されて茶畑が造られ、西尾茶の地場産業としての基礎が築かれました。このことから紅樹院は、西尾に茶産業を広めた「茶祖の寺」として知られ、毎年12月には順道の功績をたたえる「奉告祭」が催されます。

もともと抹茶は、主に茶道用に限られていましたが、昭和30年代になって、食品加工用として採用されるようになり、生産量が倍増しました。この結果、抹茶が西尾の地場産業として重要な地位を占めるようになりました。このことが認められ、『西尾の抹茶』が地域ブランド

として特許庁に商標登録されました。

稲荷山茶園公園から東北方向へ直線で150mほど行った所に、縄文時代後期のものとされる八王子貝塚があります【⑤】。当時は海水がこの辺りまで入り込んでいたようで、一面にハマグリやアサリなどの貝殻が散らばっています。また、土器や土偶、骨角器なども数多く出土しています。

昨年の秋、稲荷山の茶畑で茶の花を見つけました。花弁が純白で、ザンカと同じくツバキ科だそうです。心を和ませてくれました【⑥】。

いよいよ夏本番がやってきます。稲荷山周辺も抹茶の生産で活況を呈することでしょう。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。



生涯学習としての居合道

西尾市剣道連盟 居合道部

西尾市剣道連盟居合道部では、15〜80歳の会員約20人が、各自の目標に向け練習しています。1年を通じ、全日本・愛知県・西三河剣道連盟主催の大会や講習会、演武会などに参加しています。

今、居合と聞くと、座頭市の居合抜きや、巻きわらなどの試し切りを連想される方も多いと思います。刀に命を懸けた時代には、映画のように、刀をいつ抜いて、いつ収めたか分からない名人もいたでしょう。しかし、現代の居合はそうではありません。刃筋の正確さと切れる居合を目指して、仮想の敵に向かって決められた形（技・術）を時にはゆっくり、時には速く抜き、これを繰り返し返して錬磨します。また、礼儀や刀法など全てが剣道と居合道の両立、すなわち剣居一体と考えるのが、現代の居合道です。

日々、次の目標に向けて努力し続ける居合道は、生涯学習であり、現在居合を学ぶのは、剣道経験者のほか、年配者や女性が増えています。

問合せ 西尾市剣道連盟居合道部 榎本（☎090・2685・3107／熊味町）

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当（☎65・2159）へ。



たいよう
黒辺 太陽くん
(市子町)

平成24年9月生まれ
元気いっぱい笑顔で、
これからも周りの人を
明るく照らしてね☆



りゅうせい
八木 龍生くん
(刈宿町)

平成25年6月生まれ
よく食べて元気に遊ん
で大きくなろうね!!
やさしい人になってね。



りな
倉地 里奈ちゃん
(鳥羽町)

平成24年6月生まれ
保育園でたくさんお友
達を作って、スクスク
元気に育ってね♡



はるき
兼子 遥輝くん
(吉良町)

平成25年12月生まれ
家族みんなに愛されて
る遥くん。笑顔いっば
い、元気に育ってね!



きょうま
稲垣 杏真くん
(上町)

平成25年12月生まれ
いつも笑顔で食いしん
坊な杏真♪強くて優し
い子に育ってね☆



すずな
都築 紗菜ちゃん
(徳永町)

平成25年12月生まれ
家族みんな笑顔のすー
ちゃんが大好き♡元氣
で優しい子に育ってね。



かずま
三浦 和馬くん
(吉良町)

平成24年12月生まれ
歌と踊りが大好きな和
馬♪笑顔で楽しく幸せ
な毎日进行中!



こうみ
深谷 心海ちゃん
(米津町)

平成25年6月生まれ
こうちゃんの笑顔に家
族みんなが癒されて
ます。大好きだよ♡

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

西尾市史ニユース 2

天竹神社所蔵の「綿壺」？

岩瀬文庫学芸員 三田敦司

平安時代初期の延暦18（799）年、小舟に乗った20歳ほどの1人の男が三河の国の海岸に漂着したという記事が、国の公式記録である『日本後記』や、菅原道真によって編集された『類聚国史』に掲載されています。身長は約153センチメートルで言葉は通じず、この男を見た唐（中国）の人は崑崙人（マレーシア辺りの人）だと言い、後に自ら日本語を習って天竺人（インド人）であると言ったと記されています。朝廷は、崑崙人が持っていた綿の種を西日本の諸国に与えて栽培させましたが、この綿の実は根付かず絶えてしまったようで、日本で木綿の栽培が定着したのは室町時代になってからとされています。

天竹町の天竹神社は、綿祖神である崑崙人を祭る珍しい神社です。平安時代に崑崙人が漂着したのがこの地であったと伝えられ、秋の祭礼では、綿打ちや糸紡ぎを再現した神事が行われます（今年10月25日（日）午後2時ごろから）。

また、天竹神社には、当地に流れ着いた崑崙人が綿の種を収めていたとされる、「綿壺」が伝えられています。この壺は江戸時代末期に矢作古川沿いの田を耕していた村人によって発見されたもので、神宝として保管されています（写真）。現在の考古学的な研究によると、この壺は須恵器と呼ばれる焼き物で、平安時代より古い古墳時代後期（7世紀初めごろ）の猿投窯産と考えられます。



崑崙人の漂着について詳しくは、『西尾市史研究第1号』（岩瀬文庫にて500円で販売中）をご参照ください。

岩瀬文庫（☎56・2459）

月刊!! スポーツにしお

Vol.03

ペタンクをしてみよう!!

ペタンクとは、金属製のボールを投げ合い、相手より目標球に近づけ、チームで得点を競うゲームです。

昨年、西尾市から3チームが愛知県の代表として日本選手権に出場し、1チームが準優勝しました。日本ランキングトップの選手もいます。皆さん、ぜひペタンクを体験しましょう。

「ペタンクの良いところ」

- ① 子どもから高齢者まで対等に競技を行うことができる
- ② ルールが簡単で、誰でもすぐに競技を始められる
- ③ 狭い場所でも気軽にプレイできる
- ④ 2人集まれば試合を楽しめる
- ⑤ 体力に自信がなくても十分に楽しめる
- ⑥ 奥深さと意外性があり、飽きることはない
- ⑦ フランスで生まれたオリジナル競技で、完成度



⑧ 中高校から始めたとしても、大会で優勝することは決して夢ではない

「ペタンク教室」

対象者 小学4年生以上

日時 6月14日、7月12日、9月13日、10月11日、11月8日、1月10日、2月14日、3月13日の毎週日曜日 全8回 午後1時～3時

場所 臨海公園ゲートボール場（東幡豆町）

参加費 1回100円（中学生以下は50円）

その他 事前申し込みは不要。1回だけの参加もできます。

閻スポーツ課振興担当（☎54・0002／総合体育館内）

西尾市のデータ

■人口



	5月1日現在	前月比
男性	85,867人	+111人
女性	84,378人	+24人
計	170,245人	+135人
世帯数	60,366世帯	+258世帯

■交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		負傷者	死亡者
4月	58件	74人	0人
1月からの 累計	241件	284人	3人

■消防の状況



	火災	救助	救急
4月	3件	3件	516件
1月からの 累計	17件	10件	2,207件

今月の表紙

西尾市少年少女発明クラブの公開教室「リニアモーターを作ろう」が4月12日、中央ふれあいセンターで行われました。リニアモーターの仕組みを学んだ後、磁石やアルミテープなどを使用し、親子で協力して製作しました。リニアモーターが完成すると、目を輝かせながら、何度も何度も走らせていました。

編集雑記

消防団の安全運転講習会の取材に行きました。私自身も消防団員の時には、昼夜を問わず火災などの出動時に、消防車や自家用車で現場に駆け付けていました。「急ぐ時こそ沈着冷静に」と交通安全には細心の注意を払って活動していたことを思い出しました。ところで、今年も市内では交通死亡事故が多発しています。事故に遭わない。また、起こさないためにも、時間にゆとりを持ち、思いやりの意識で安全運転に努めたいものです。(A)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●西尾小学校

西尾小学校の3年生の児童138人が4月17日、きゅうり生産者とのふれあい学校給食を楽しみました。児童一人一人にきゅうりが配膳され、おいしそうに丸かじりしていました。



●西野町小学校

西野町小学校の3年生の児童45人が5月1日、稲荷山茶園公園で手もみ茶づくりと抹茶たてを体験しました。出来上がった手もみ茶は、市長と市内の老人ホームにプレゼントされました。



●一色西部小学校

一色西部小学校の5年生の児童58人が5月11日、田植え体験をしました。中には転んで泥まみれになる子もいましたが、地域の農家の指導を真剣に聞きながら、田植えを楽しみました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色伊那踰61

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。